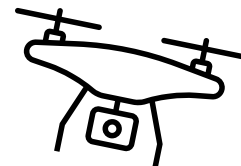
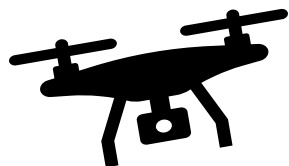


# ちゅんちゅん新聞

7月5日  
火曜日



## 高校生のドローンカメラマン

愛知県 江南市の高校三年生、小澤 諒祐さん(18)。上空などから映像を撮る、「ドローン」を操作する、「ドローンカメラマン」。

犬山城を取るよう、依頼を受けたりしている。犬山城ギリギリまでドローンを近づけて撮った映像が今、話題になっている。そのほかにも、アーティストの米津玄師、桑田佳祐のMVの撮影を任されるなど、国内トップクラスのドローンカメラマン。

小澤さんは、「普段見られない視点からの写真や映像がドローンで手軽に撮影できるので、そこからどんどん入り込んでいきました」と言う。

小澤さんが初めてドローンに興味を持ったのは、小学5年生の頃。親からプレゼントされたのがきっかけだった。それからはほぼ毎日、ドローンの操縦の練習を行ってきたそう。

小澤さんが練習に使うのは、手のひらサイズの小さなドローン。ドローンで競技もするそう。目で追えないほどのスピードで、直径40センチほどの小さな輪を、きれいにくぐっていく競技。小澤さんは、数々の大会で、優勝している。

小澤さんによると、指先で1ミリ、1ミリと調整して操縦しないと行けないため、とても高度なんだそうです。

競技用のドローンは、機体の水平を保つセンサーが付いていなく、常にプロペラの出力調整をしている、高度なテクニックが必要になる。小澤さんは、1日、10時間以上練習して、指先で調整する、高度なテクニックを身につけた。

練習場の常連客は、「(ドローンの)操縦に迷いがない」、「僕にとっては雲の上の存在」などと言う。

中学生になると、知り合いにすすめられ、ドローンカメラマンとして、本格的に仕事をするようになった、小澤さん。

レースのように、決められたコースを進むのではなく自分で考たり、工夫したりして、映像を撮るのだという。それに、魅力を感じたそう。



### ちゅんちゅんです！

私はこの新聞を書いている(ニックネーム:)ちゅんちゅんです。

小澤さんは、小学五年生の頃から、ほぼ毎日、練習していたんですね。ほぼ毎日やっていたら、私なら、すぐあきてしまうと思います。でも、好きなことだと、あきないんです。小澤さんも、そこまで、ドローンが好きだったんですね！

小澤さんが言ったように「自分で考えたり、工夫したりして映像を撮るところに魅力を感じた」それは、私もそうです。それなら、私も続けられそうです。私は、決められたコースを進むのはイヤなのです。

## 声 失う人 年間推定 4,000 人

喉の癌などで声帯を切除するなど、声を失い、話せなくなる人がある。年間推定 4,000 人。こうした人たちが、簡単に話せるようになるよう、補助する装置の開発が、新たに進んでいる。

安平有希さん(40)。18歳の時に神経系の難病を発祥し、気管切開した後、人工の呼吸器を使うようになってから、声を出すことが出来なくなった。現在は、筋肉が硬直する症状があり、24時間の介護が必要。

夫のたかしさん(57)は、「私が苦しんでいるより、有希の方が苦しいと思う」と言う。有希さんのように、声を失った人の声を再び取り戻せないか、東京医科歯科大学の研究グループは、簡単に発声できる装置の開発をしてきた。

戸原 玄教授は、「頑張ってコミュニケーションを取ってくれようとしなくていい。それを、何とかできないのかなって思ったのがきっかけ。」と言う。

これまでも、発声を補助する装置などにはありましたが、コツを掴むのが難しく、誰でも習得できるわけではなかった。そこで構想から 10 年、2 年前からは、約 50 人の協力を得て、試作を重ねてきました。

歯形から作った装置を、上顎にはめ、口を動かすと、声を出すことができた。

発声するためには、期間を通った息が、喉にある声帯を振動させることで、声の下と鳴る音が作られる。口や舌などを動かすことで、その息が言葉となる。一方、癌などで声帯を切除したり、使えなかったりすると、息が外に出てしまい、話すことができなくなる。

完成した装置では、マウスピースに埋め込まれたスピーカーがあらかじめ声の下と鳴る音を録音した再生機と結ばれている。音を再生し、話すように口を動かすと、動きに合わせて言葉を発することが出来る仕組み。声を取り戻すという意味で、Voice Retriever(ボイスレトリバー)と名付けられた。

長年、声を失っていた有希さんは、知人から聞いて、ボイスレトリバーのことを知り、使いたいと、利用を申し込んだ。

去年 11 月、初めて装着したときのことを、夫のたかしさんが撮影していた。20 年ぶりに発した言葉は、ずっと言いたいと思っていた、夫の名前。

たかしさんは、「一番に呼んでくれて、泣いちゃいました。声で呼ばれたことは初ですからね。」

使い始めて七ヶ月。母親などともカメラ通話で楽しむことができるようになったそう。

### ちょこっと ニュース

#### 通信障害 過去最大

2 日午前 1 時半過ぎから始まった、大規模な通信障害。全体で最大約 3915 万回線に影響し、過去最大となった。

約 40 時間かかった、復旧作業は終了したが、ネットワークの検証を行っているため、全面的な復旧に至らないということ。

#### ペルーで救出の海鳥 飛びたつ

1 月にリマ近郊で起きた原油流出事故で海鳥も被害に巻き込まれた。その海鳥たちは、施設に保護され、リハビリが行われた。

その日、たくさんの海鳥のうち、18羽が再び空へ飛び立った。ケージを出ると、海鳥たちは一斉に外へ飛び出た。これまでに120羽以上の野生への復旧に成功している。

紹介します！

～おすすめの本～

今回のおすすめの本は…、

「カラスのいいぶん」

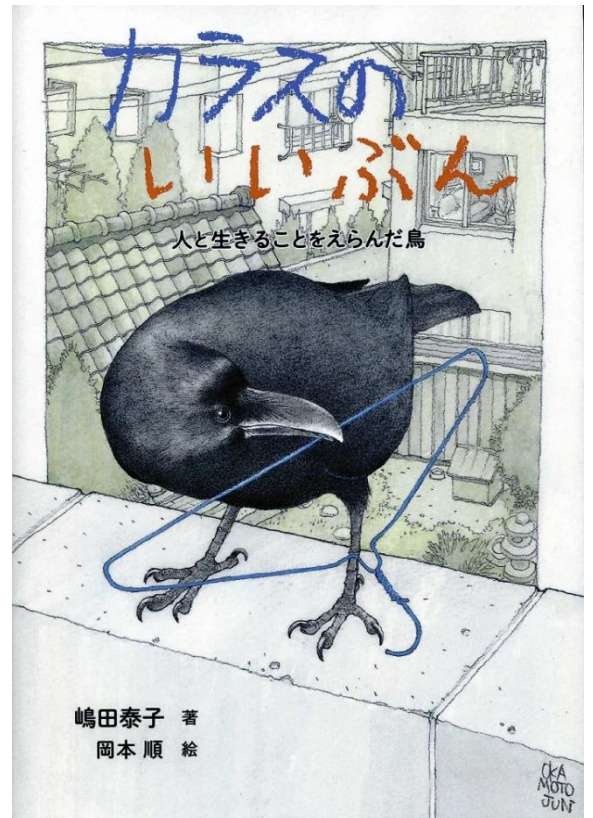


この世の中で、カラスが嫌いな人は多いですよね。なぜなら、ゴミを荒らしたり、フンをするからです。「でも、ただそれだけで、カラスを嫌わないで！」作者は、きっとそう、思って書いたのでしょう。「カラスの言い分も聞いてみて！」と。

この本は、そんなふうに思ってもらうために書いたのですが、他にも使い方があります。この本は、読書感想文に合っているのです。それに、この中の言葉の使い方も、文章の練習になるかもしれません。

絵もリアルで、わかりやすく、カラスの本能(遊び、生き延びるために、子育て)がよくわかります。

カラスは、少なくとも鳥の中では、一番賢いのではないのでしょうか。この本を読んでから、私はそう思いました。



## 南シナ海で中国の作業船が沈没

南シナ海で、台風3号による悪天候の中、中国の作業船が波にあおられて沈没。30人のうち、3人は救助されたが、27人の乗組員が行方不明になっている。関東総当局によると、作業船は、洋上風力発電の工事を行っていたが、2つに割れて、そのうち半分が沈没したとのこと。

台風3号で、沖に碇を下ろしていたが、碇の鎖が切れてしまったということだ。

GFSは、パイロット18人と、乗組員18人を発見して、救助活動に参加させた。GFSは、難しい救助だと言っている。活動は今も続いている。

## 学校に行かない理由

世の中には、不登校の子がいる。その中でも、「行きたくても行けない」ではなく、「行きたくないから行かない」という理由で行かない子がいる。不登校の、櫻井 紬さん(9)に、質問した。

**Q:** 学校は、何か、工夫をしてくれなかったのですか。

**A:** 「学校が簡単すぎて、イヤだ」と言って休学すると、学校側は、「好きな授業だけ出て、他は別室で、自主勉強をしても良い」と言ってくれました。

**Q:** それでも、学校に行かない理由は何ですか。

**A:** 学校に行きたくないわけではありません。むしろ、満足しています。ただ、『学校に行く必要が無いな』と思っただけです。なぜなら、「家でも同じ事ができる」と思ったからです。具体的に言うと、学校には1ヶ月行って、満足したということです。

**Q:** では、学校でお友だちと遊ぶのは、楽しくないのですか。

**A:** 学校での遊び(鬼ごっこ、塗り絵など)が、楽しくないのです。お友だちに、私のやりたいことを言っても、たいてい気にもとめなく、賛成してくれないことが、幼稚園の頃の経験でわかっているので、なかなか言えないのです。私が好きな遊びは、小説を書いたり、ニュースをまとめたりすることです。

**Q:** でも、お友だちと話したり、過ごすだけで、楽しいのが本当のお友だちではないですか。

**A:** 私のお友だちは、私の話を理解してくれないので、話すのも全く楽しくないのです。だから、勉強以外のことも、学校生活の中で、イヤなのです。

**Q:** 話すのが楽しい、本当のお友だちや話し相手はいないのですか。

**A:** います。でも、家族や、植物です。私は、植物が好きで、植物と話すことが趣味です。特に、「ブール」と名付けた木が好きです。植物は、人間関係の常識にとらわれていなくて、私の話をわかってくれるのです。

---

## イグアノドンの化石 国内最古級 見つかる

約一億3千万年前の「白亜紀前期」の恐竜たちの化石が数多く見つかった徳島県・勝浦町の地層で、草食恐竜のイグアノドンの化石が見つかった。徳島県立博物館などが2日発表した。

発見された化石は、尾の先端近くの骨と、植物を食べるときにすり減ったあとと見られる上あごの歯の2点。尾の骨の断面が六角形などの特徴から、全長6~7メートルほどのイグアノドン類の骨と分かった。

福井県で見つかったイグアノドン類の化石よりも約1千万年古い物で、国内最古級だという。

---

## 熊本豪雨から2年 まだ2人が行方不明

熊本豪雨から4日で2年を迎えた。災害関連死を含む67人が亡くなり、いまでも2人が行方不明。

今年六月末の時点で1195世帯、2618人が仮設住宅などで仮住まいを続けている状態。

鉄橋2本が流され、一部区間で運休が続くJR肥薩線は、国と県、JR九州による検討会議が始まっているが、運休以前から続く赤字などの問題もあり、復旧メドは未だたっていないということ。